



京都市総合教育センター  
カリキュラム開発支援センター  
KYOTO×教育DXサポートチーム

令和6年

# DX 通信 1月号



「KYOTO 教育 DX について」 (DX=デジタルトランスフォーメーション)

カリキュラム開発支援センター長 諏佐 準一

教育 DX とは、デジタル技術を駆使して教育を変革させることです。

DX は「デジタルトランスフォーメーション」の略で、企業などがデジタルを駆使して競争力を上げるという意味で使われる言葉です。ビジネスを強化するため、企業は IT システムを活用した DX に取り組んでいます。教育現場でも、デジタル技術を導入して指導方法を変え、より良い学習につなげるのがねらいです。

「個別最適な学びの実現に向けて」

GIGA スクール構想により、1 人 1 台の端末配備と高速通信ネットワークの設置を行いました。

加えて、教育変革には、指導者が IT リテラシーと指導技術を身に付け日々の授業で積極的に ICT を活用することが必要です。

教育 DX は、個人にあった教育や指導を行うためのツールです。

従来の教育では難しかった部分をデジタル活用で補い、個人に合った学びを行うことが可能になりました。

教室で行う一斉授業は、同じ内容を同じ速度で教えるのが主流でした。しかし、習熟度や理解にかかる時間には個人差があります。より個人にあわせた学習を行う必要性が増したことも教育 DX 推進の一因です。

また、教育現場での DX が求められる理由のひとつに、社会全体のデジタル化に対応できる人材の育成が急務であることが挙げられます。

社会は、DX を推進しています。子どものうちからデジタル技術を活用する能力の育成が必要です。

そのため、学校にもデジタル技術を活用した教育が求められます。教員もデジタル化に対応し、指導内容を変えていかなければなりません。

コロナ禍でリモート授業を実施するためデジタル活用が推進されました。一時期、コロナウイルスによる臨時休校が続き、従来の対面学習ができない事態となりました。

リモート授業を行う事ができる学校もありましたが、教員側の知識や準備不足のため、うまく活用できなかった学校もありました。GIGA スクール構想が急速に進んだことで、ICT 環境の問題はクリアしました。これからも、集団学習に加えてリモート授業の充実やデジタル教材の活用が求められています。

そこで、カリキュラム開発支援センターの DST (KYOTO×教育 DX サポートチーム) は、すべての児童生徒の「個別最適な学び」を実現することと、デジタル技術を活用できる児童・生徒を育てることを目標に学校で実施される教育 DX を支援いたします。

ICT に係る児童・生徒の活動支援と、教員の自主的な研修を支援します。

ぜひ一度、カリセンに連絡してみてください。





## DST ICT 支援主事 New Year's Message

GO GO DST !!

### AI の放し飼いに注意

ICT 支援主事 吉川 大喜

近年、ICT 分野が目覚ましい進歩を遂げていますが、昨年は特に生成 AI が注目を受けていました。生成 AI はプロンプト（AI に作業を指示する言葉）を用いて、文章や絵を生成することができます。専門知識がなくても様々なコンテンツを作ることができますが、一方で、著作権の侵害や情報の真偽を自分たちで判断する必要があります。今年もさらに AI が進歩し様々な発展していく中で、活用する側の人間も併せて進歩せねばと思います。



### 生成 AI の可能性を享受できるか？

ICT 支援主事 岡 邦枝

生成 AI 旋風が吹き荒れる昨今、生成 AI に関する記事・ニュース・本などが社会にあふれています。革新的な技術が世に出ると付随してハレーションが起こります。古くは自動車、飛行機、そしてインターネット、LINE。正しく使いこなせなければ事故につながり危険な目に会う可能性があります。しかし、使い方を学び大けがをしないよう経験を積み上手に使いこなせる人が増えると世の中は豊かになっていくでしょう。生成 AI とともに歩む豊かな未来は自ら判断し「学ぶ取る」ものなのではないでしょうか。



### 新年の思い

ICT 支援主事 新井 保

GIGA スクール構想から教育 DX へ。私たちの活動もまもなく 4 年目に入ります。GIGA 導入から 3 年、今や端末は日常的文房具のひとつとなりつつあります。一方、教育という営みを遥かに凌駕しそうな生成 AI の勢いが止まりません。いず点(シンギュラリティ)が訪れるだろうと見込まれる技術的特異時に力強く対応できるように、「甲辰」を春の日差しが、あまねく成長を助ける年にしたいものです。



### 誰一人取り残さないために

ICT 支援主事 栗栖 ゆみ子

新しい年がスタートしました。辰年は、「変革」や「激動」の年といわれています。これまでの努力が実って夢が叶ったりする年だそうです。そう考えると何だかワクワクしてきました。昨年はたくさんの学校に行かせていただき、素敵な出会いがありました。改めて感謝申し上げます。GIGA スクール構想が始まって今年で4年目。多様な子ども達を誰一人取り残すことのない学びが実現できるように、今年も学校現場の支援をがんばって参ります。

### DST メンバー仲間入り

ICT 支援主事 三宅 泰

学校現場を離れ、カリセンでの勤務。4月から、生活は大きく変化しました。まず、公共交通機関での通勤と弁当作り。毎朝、バスの時刻に遅れないように弁当を作って準備することが結構フレッシュになっています。

そしてもうひとつ、ICT 支援。学校現場にいる時には、まだ導入されてなく、使ったこともない「Teams」「Forms」「ロイロノート」等の授業支援や研修支援を行うことです。支援以前に「それって、どうするの？」からのスタートでしたが、周りに助けてもらい、ようやく少しはわかってきたかなというところです。しかし、子どもたちの学習と一緒に、わかってくると楽しいものです。

今年は、自信をもって、子どもたちの支援を楽しみたいと思います。

### GIGA 端末活用で AI 時代の

#### はじまりを！

ICT 支援主事 森本 哲

GIGA 端末導入が始まって4年になります。「石の上にも3年」、GIGA スクール構想が徐々に定着し、GIGA 端末活用授業が日常になり、子どもたちにとって必要不可欠な学用品となりました。この景色がそのまま AI 活用のはじまりになってほしいと願っています。カリセン教育 DX スタジオでは、マルチメディアを取り入れた教材開発と研究を皆様とともに進めたいと考えています。今年も皆様とともにがんばっていきたいと思います。

よろしく  
お願いします



# DX スタジオで！

12 月も動画の撮影依頼をたくさんいただきました。今回は撮影の様子をご紹介します。

まず、提示する資料内容とそれを提示するタイミングの確認をします。次に、ピンマイクをつけて音量を調整します。立つ位置の確認ができれば準備は完了です。

そして撮影です。冒頭の部分をテスト撮影して、いよいよ本番です。発表者はやはり緊張されますが大丈夫です。うまくいかないところは何度でも取り直すことができます。

撮影後、細かな編集も DST (KYOTO×教育 DX サポートチーム) が行います。

ぜひ、授業で使う教材動画や校内の研修動画等の作成に挑戦してみてください。ご依頼をお待ちしております。



## 操作方法解説

### ショートムービー

公開迫る!!

DST 制作「ロイロノート」「Teams」「Forms」の基本操作解説ショートムービーの完成が近づいています。

スマートポータルから見ていただくことができます。

詳細については 2 月号でお知らせする予定です。

